

かけはし

(題字・佐々木英明氏)

第 36 号

発行日：令和4年3月15日

発行元：陽東地区まちづくり協議会

事務局：陽東地域コミュニティセンター

〒321-0904 宇都宮市陽東2-16-36

TEL / FAX 028 (662) 6269

E-mail : yoto_com@flower.ucatv.ne.jp

陽東地区の人と人、心と心の「かけはし」に…

今年こそコロナ退散… 感染終息を炎に願って



撮影者 加藤弘 (陽東地区まちづくり協議会広報担当)

『どんど焼き』二年ぶりに開催

1月9日(日)、第7回目となる石井・

平石・陽東三地区の有志による合同どんど焼きが平出町内の田んぼで開催されました。コロナ禍が続く中での開催には不安もありましたが、感染防止のため恒例のけんちゃん汁や甘酒、まゆ玉の「ふるまい」はなしの形で、「第6波」が到来する前に、二年ぶりに天高く燃え上がるどんど焼きの炎を見ることができました。

当日は早朝から約30名がどんど焼きのやぐら作りに従事。切り出した竹で骨組みを作り三方をロープで固定。葉のついた約10メートルの竹をやぐらの中心に立て、昨年末に鬼怒川河川敷で刈りとって準備してあった茅など燃えやすいものを中につめながら竹などでまわりを囲み、約5時間かけてやぐらが完成しました。

平出雷電神社宮司の祈祷を受け、夕方5時、家々から持ち寄られた門松などの正月のお飾り、しめ縄、達磨などが積み上げられたやぐらに子どもたちがたいまつで点火し、炎が勢いよく燃え上がりました。

どんど焼きは、一年の無病息災と五穀豊穡を願うために古くから各地で行われてきた伝統行事です。「無病息災」とは、病気になるらないこと、災いもなく元気であることです。コロナ禍は3年目を迎えてしまいました。大勢の皆さんの「今年こそコロナ退散を、感染終息を」という願いを込めて、燃え盛る炎が明々と真冬の夜空を照らしました。

住んでよかった ずっと住みたい このまち 陽東



進行役の大橋さん(写真右)



「令和4年成人式」を終えて

陽東中学校区成人式実施委員

大橋 優

成人式は、中学時代をともに過ごした仲間や恩師の方々と久しぶりに再会できる特別な場です。再会に心を躍らせながらも、新型コロナの感染拡大が続く中で開催に不安を感じる方も多かったと思いますが、参加者の健康管理や感染対策の徹底を図ることによって無事に開催することができました。

私たち新成人が一堂に会するのは5年振り。会場は再会を喜ぶ声や思い出を懐かしむ声に包まれ、5年という年月を感じながら、以前とはまた変わったそれぞれの成長を実感しました。

恩師やご来賓の方々の言葉に真摯に耳を傾けている姿に、大人の仲間入りを果たしたことの自覚と責任感を改めて感じることができました。私たち新成人はこれからの社会に向き合いつつ、更なる成長に努めて参ります。このような素晴らしい式典が開催できましたことをご来賓の皆様をはじめ、恩師の方々、家族、見守ってきたださった地域の皆様、携わってくださったすべての方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

※4月から成年年齢が18歳に引き下げられるため、「20歳の成人式」は今回が最後で、来年の1月は「二十歳(はたち)」を祝う成人のつどい」に変更になります。「成年+2歳」となる来年の式典参加者はどのような感想を持つのでしょうか(編集子)。

長年の地域活動が表彰されました

栃木県知事表彰

栃木県自治会連合会長表彰



植木稔さん
(東峰中東自治会長)



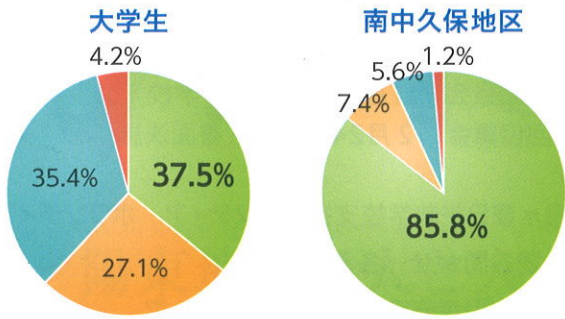
室井光さん
(東峰西自治会長)

自治会長として、長年、陽東地区の住みやすい豊かな地域社会の維持及び発展に寄与されている植木稔さん(東峰中東自治会長)と室井光さん(東峰西自治会長)のお二人がこのたび表彰を受賞されました。

コロナ禍の中での自治会活動には様々なご苦勞があることと拝察します。この度の受賞を心からお慶び申し上げます。

—宇大生が実施したアンケートの結果がまとまりました—

「5種13分別ルール」を順守しているか



- ルールを順守しきちんと分別している
- 資源ごみで出しているのはペットボトルとびん缶のみである
- 焼却ごみ不燃ごみの2分別くらいしかしていない
- 危険ごみは分別せず不燃ごみと混ぜて出している

アンケート結果と改善策の検討

宇都宮大学地域プロジェクト演習6班

陽東地区まちづくり協議会

宇大の地域デザイン科学部で学んでいる3年生5名のグループが、演習のテーマに陽東地区の「ごみ問題」を取り上げて活動を進めました。まちづくり協議会では演習の地域パートナーとして学生によるアンケートの実施等に協力しました。

南中久保地区と宇大生にアンケート

南中久保自治会地区の住民(南中久保自治会員と一部の集合住宅居住者)と宇大生(地域デザイン科学部3年生)を対象に「ごみの分別や出し方」についてアンケートを実施しました。南中久保地区の回答数は161件(回収率42%)、学生の回答数は48件(回収率33%)でした。

「5種13分別」ルールの順守状況

「ルールを順守し、きちんと分別してごみ出ししている」と回答があつたのは南中久保地区の住民は約86%だったのに対し、大学生では約38%でした。

地区の住民の皆さんの大半はルールをよく守っているという回答でしたが、一方で、資源ごみや危険ごみなどの分別が完全にはできていないと回答された方が14%ありました。資源ごみでは特に紙類やプラスチック製容器包装などの扱いが、危険ごみでは不燃ごみとの区別などが分かりにくく、また面倒だと感じている住民の方がまだ少なくはないようです。

「ごみ出し」で住民が困っていること

南中久保地区の住民がごみ出しなどで困っているのは、①ごみステーションがガラスや猫に荒らされる(42%)、②一部にごみ出しのルールを守らない人がいる(22%)、③清掃当番がきちんと掃除してないことがある(10%)の順でした。



ルール違反の主なものは、「焼却ごみの収集日に不燃ごみや資源ごみが混じって出されている」や「ごみの収集曜日・収集時間が守られていない」ですが、自由意見では、「集合住宅の一

部の方のごみの出し方が特に悪い印象がある」「自動車で来て出していく地区外の人のマナーが悪い」などの声も寄せられました。

マナーの改善には何が有効か(3択)

ごみ出しマナーの改善のために地区の住民が有効と選択したのは、①住民に対する行政の啓発活動の強化(57%)、②自治会から集合住宅の不動産仲介業者やオーナーに対する協力要請(28%)、③大学等高等教育機関を通じた在学生への啓発活動(15%)の順でしたが、自由意見では、「分別のチラシを定期的に戸別配布する」「半透明の袋と顔認証で誰のごみか分かるようにする」という声も寄せられました。

宇大生が提案する改善方策

- ◆ アンケートの結果を踏まえて、6班の学生は次のような改善方策をまとめました。
- ◆ 地区外の人のごみ捨て防止↓地区毎に袋の色を揃え地区外から捨てるにくくする。
- ◆ 誰が出したごみか分かるように↓袋に個人ごとに違うマスキングテープを貼る。
- ◆ 自治会未加入者の啓発に↓分別の意義を効果的に訴えるポスターを作成する。
- ◆ 外国人などの理解のために↓ごみの種類をピクトグラム(絵文字)で表現する。

ごみ排出量の削減に向けて

陽東地区まちづくり協議会

「人の生活で必ずごみは出ますその処理をできないようでは最低ですましてや学生さんのテーマになるとは残念です(アンケートの自由意見より)」。

宇大生がまとめた改善方策を実際に行う上ではいろいろ課題があるかも知れませんが、限られた時間の中、ユニークで有意義な提案をしてもらいました。折しも現在、2月にクリーンパーク茂原で火災が発生した影響で市民には「ごみ出し5割削減」が要請されています。今回の若い世代からの問題提起を機に、陽東地区の皆さんにあらためて「ごみ問題」を考え、排出量削減に努めていただければと思います。



ごみステーション現地調査の様子

魅力ある学校づくり地域協議会

陽東中学校地域協議会

◎令和3年度活動報告

- 第1回協議会 6月17日(木) 地域室
- 第2回協議会 10月25日(月) 地域室
- 第3回協議会 2月22日(火) 書面決議

陽東中学校未来会議 11月15日(月)

図書室ディスプレイ 年4回

1年生家庭科授業見守りボランティア 随時

体育館暗幕の修繕

地域室廊下の装飾など



陽東キャンパスの松ぼっくりでボランティアさんが四季を演出

陽東小学校地域協議会

◎令和3年度活動報告

- 第1回協議会 6月24日(木) コミセン
- (第2回協議会 9月30日(木) 中止)
- 第2回協議会 11月11日(木) 小学校
- 第3回協議会 2月24日(木) 書面決議

毎週水曜日午前学校支援ボランティア ボランティア室

朝の読み聞かせ 各教室

登下校の児童安全見守りボランティア

家庭科授業見守りボランティア

農園ボランティア

トイレ清掃・トイレ履き洗い



陽東小中学校地域協議会ふりかえり

新型コロナウイルスの流行2年目となった今年度も様々な行事の中止を強いられた年になりました。そんな状況の中でも出来ること、方法を考えて活動してまいりました。

ボランティア活動は一旦無くしてしまうと再開にはとても労力と時間がかかりますので細々とではあっても継続することを最優先させてきました。縮小した活動の中、「手伝えることがあったら言ってね」「次の連絡待ってるよ」「家に持ち帰ってやってきてあげる」・・・と温かい言葉にも出会えた年でした。

この先もしばらくはコロナ禍を過ごすことになりそうですが、学校・地域・家庭で連携を図るうえで各地域協議会の持つ役割はより重要となります。地域の魅力をもっともっと活かせる活動につなげるため取り組んでまいりますので、今後とも地域のみなさまのお力添えをいただきますようお願いいたします。



市から緊急要請

ごみSOS!



2月にクリーンパーク茂原で火災が発生し、現在、同施設でごみの焼却ができなくなっています。このため、宇都宮市から市民・事業者に対して、「燃えるごみの5割削減」への協力が要請されています。皆様のご協力をお願いします。

- ①ごみの排出量を5割削減してください
- ②生ごみの水分を減らしてください
- ③資源物を分別してください
- ④食品ロスを削減してください